

事業名	スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業（SSN）	
主管課及び関係課（課長名）	（主管課）初等中等教育局児童生徒課（課長：坪田眞明）	
施策目標及び達成目標	<p>施策目標 2 - 2 豊かな心の育成と児童生徒の問題行動等への適切な対応</p> <p>達成目標 2 - 2 - 6 不登校対策に関する中核的機能（スクーリング・サポート・センター）を充実し、学校・家庭・関係機関が連携した地域ぐるみのサポートシステムを整備する。</p>	
事業の概要	<p>本事業は調査研究委託事業であり、不登校児童生徒の早期発見・早期対応をはじめ、より一層きめ細かな支援を行うため、教員や指導員の研修、家庭への訪問指導など、不登校対策に関する中核的機能（スクーリング・サポート・センター）を充実し、学校・家庭・関係機関が連携した地域ぐるみのサポートシステムを整備するものである。平成17年度は、調査研究内容の一層の充実を図るため、指定地域数を拡充する。</p>	
予算額及び事業開始年度	<p>平成17年度概算要求額：927百万円（16年度予算額：838百万円）</p> <p>事業開始年度：平成15年度</p>	
事業開始時において得ようとした効果	<p>本事業は、平成15年度から開始し、地域における不登校対策に関する中核的機能（スクーリング・サポート・センター）を充実し、学校・家庭・関係機関が連携した地域ぐるみのサポートシステムを整備することを目的として、不登校への適切な対応が可能となるという効果が現れることを予定していた。</p>	
得られた効果	<p>学校・家庭・関係機関等が連携した不登校への対応について、全国協議会における事例発表等に見られるように、学校・教員・指導員への研修機会等の充実等、一定の効果が得られている。一方、取組が進むにつれ、市町村を超えた連携による支援、訪問指導の人材確保及び研修・マニュアルの整備、保護者への支援、不登校児童生徒の自立に向けた支援等、今後場合一層取り組むべき課題も明らかになっており、また、不登校の背景に児童虐待がある場合把握及び対応を行う必要がある。</p>	
得ようとする効果	<p>全国の各指定地域において、不登校対策に関する中核的機能が充実し、学校・家庭・関係機関が連携した地域ぐるみのサポートシステムが整備され、教員や指導員の研修、家庭への訪問指導など、不登校への適切な対応がなされる。</p>	<p>達成年度</p> <p>平成17年度</p>
必要性	<p>不登校については、学校や教育委員会において、それぞれに学校復帰に向けた取組を行っているが、不登校の要因・背景・態様が多様化する中、教育委員会の設置・運営等、支援センター（適応指導教室）など既存の相談機関の利用状況を踏まえると、必ずしも十分な支援が行き届いているとは言い難い状況である。このことから、不登校児童生徒の早期発見・早期対応をはじめ、より一層きめ細かな支援を行うため、教員や指導員の研修、家庭への訪問指導など、不登校対策に関する中核的機能（スクーリング・サポート・センター）を充実し、学校・家庭・関係機関が連携した地域ぐるみのサポートシステムを整備する必要がある。</p> <p>今後は、不登校への対応の在り方について（報告）（平成15年3月、不登校問題に関する調査研究協力者会議）においても、当該事業について、「積極的に展開し、適応指導教室を中心とした地域ネットワークの整備のための実践的な研究を進め、この報告で述べた様々な提言の具現化を図っていくことが必要である」とされており、さらに、不登校の背景に児童虐待がある場合があることなども踏まえ、今後も、適切な状況把握及び対応を行うため当該事業を一層推進していく必要がある。</p> <p>平成15年度実績評価においても、「不登校への対応については、様々な要因・背景を踏まえ、引き続きネットワークの整備を進める必要がある」とされている。</p>	
効率性	<p>各都道府県・市町村の地域ネットワークにおいて、地域の実情に応じた研究が行われている。モデル地域を指定し、その先導的かつ実践的な研究を国として援助し、その成果を全国に普及することにより、より一層きめ細かな支援に向けた取組が全国的に推進されることになり、効率的である。</p>	
有効性	<p>指定地域からの報告等により、地域における不登校に関するサポートシステムの整備状況、不登校児童生徒及び保護者への支援内容の充実度、不登校の改善状況等を検証する。</p>	
	<p>不登校対策に関する中核的機能（スクーリング・サポート・センター）の充実により、学校・家庭・関係機関が連携した地域ぐるみのサポートシステムの整備が図られ、個々の個別対応では十分に実施することができなかった教員や指導員の研修、家庭への訪問指導、保護者への支援、不登校児童生徒の自立に向けた支援等の一層の充実が図られると判断。</p>	

スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業(SSN)

国

スクーリング・サポート・センター全国協議会
全国不登校フォーラム

47都道府県
(広域ネットワーク)

委託

広域スクーリング・サポート・センター (47)
都道府県教育センター・教育支援センター(適応指導教室)等

- 基礎的調査研究
- モデルプログラム開発
- 教員研修
- 民間施設に関する情報提供
- 高度専門人材バンク 等

関係機関

- ・児童相談所
- ・精神保健福祉センター
- ・大学
- ・ハローワーク
- ・養護学校

評価検討会議
成果の分析・改善のための検討
(センターと各施設の役割分担、センターのもつべき機能等について)

支援

地域ネットワーク(単独又は複数市区町村)

地域スクーリング・サポート・センター (450 -)
市区教育センター・教育支援センター(適応指導教室)等

- 事例検討会の実施
- 家庭にひきこもった児童生徒への訪問指導
- 保護者の相談対応・助言
- 教員研修、教員への助言・指導
- 体験活動プログラムの実施・コーディネート
- 民間施設に関する情報収集・提供
- ボランティア等の人材バンク

関係機関

- ・青少年教育施設
- ・家庭児童相談室
- ・児童委員
- ・医師
- ・保健所
- ・少年補導センター
- ・NPO、ボランティア 等

指導・助言
研修

助言・援助
訪問指導
不登校講座

学校

家庭(保護者、子ども)

教育支援センター
(適応指導教室)

民間施設